

2液形弱溶剤エポキシシーラー

浸透性マイルドエポシーラー



ローラー対応



はけ対応



スプレー対応



特長

- 含浸性に優れ、下地補強効果が得られます。
- 耐水性、耐アルカリ性に優れています。
- 弱溶剤タイプなので、臭気が少なく作業環境などに配慮ができる塗料です。
- 旧塗膜への影響も少なく、改修に適しています。
- ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆です。
- 日本建築学会規格 JASS 18 M-201 (反応形成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形成樹脂シーラー) 適合品です。

用途

- 内外装建築用仕上塗材の下塗材
- 内外部壁面新設および改修時の下塗り
- 屋根塗替用の下塗り

適用下地

- コンクリート、モルタル、スレート板、ケイカル板、押出し成形板等
窯業系屋根材(スレート瓦、コロニアル、カラーベスト) 注)サイディングボードに使用する場合はお問い合わせください。

適用主材・上塗

- 弱溶剤上塗塗料
シントーハヤブサシリコン、シントーハヤブサウレタン、マイルドシリコンルーフ など
- 水性上塗塗料・主材
シントー水性グラントツシリーズ、ページエコシリーズ、ハイラバーウォール主材 など

標準塗装仕様例

■ 内外部コンクリート、モルタル、各種ボード面などの仕様例

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量*1 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	脆弱部分を除去し、被塗面に付着している汚れ、ごみ、粉等を清掃する。					
下塗	浸透性マイルドエポシーラー	無希釈	0.08 ~ 0.15	1~2 ^{*2}	16時間以上7日以内	はけ・ローラー
上塗	シントーハヤブサウレタン(塗料用シンナーA)	5~10	0.12 ~ 0.15	2	3時間以上7日以内	はけ・ローラー

■ 屋根 コロニアル塗り替えの仕様例

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量*1 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	ごみ、油、汚れを取り除く。はがれかけている旧塗膜は可能な限り取り除く。粉、ほこりは水洗いをして取り除き乾燥させる。健全な塗膜は目粗しを行う。					
下塗	浸透性マイルドエポシーラー	無希釈	0.10 ~ 0.15	1~2 ^{*2}	16時間以上7日以内	はけ・ローラー
上塗	マイルドシリコンルーフ(塗料用シンナーA)	0~15	0.12 ~ 0.15	2	3時間以上7日以内	はけ・ローラー

*1 被塗物の形状・表面状態により使用量が異なる場合があります。

*2 下地の吸い込みが著しい場合は、下塗の塗回数を増やしてください。(被塗面がうっすら濡れ色になるまで)

塗装方法 ■ はけ、ローラー、スプレー

商品構成

容量			混合比
セット	主剤	硬化剤	90/10 (重量比)
16kgセット	14.4kg	1.6kg	

使用可能時間

温度	10℃	20℃	30℃
使用可能時間	10時間	6時間	4時間

性能

試験項目	規格	性状
ポットライフ (23℃・h)	3時間で使用できるものとする	合格
塗装作業性	はけ塗りで、塗装作業に支障がないこと	合格
表面乾燥性 (23℃)	16時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格
耐水性	水に168時間浸しても異常がないこと	合格
耐アルカリ性	水酸化カルシウム飽和溶液に24時間浸しても異常がないこと	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない	合格
加熱残分%	20%以上	合格

ご使用上の注意事項

● 施工上の注意事項

- 気温 5℃以下のときは塗装を避けてください。また湿度 85%以上のときや換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 塗装後短時間で降雨、降雪、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 強風、砂埃が多いときは、塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが塗装中、乾燥後に付着すると塗膜性能低下、仕上がり不良を生じるおそれがあります。
- コンクリート、モルタル面への塗装で含水率 10%以上(デジタル式水分計の場合は 5%以上)、pH10以上の場合は塗装を避けてください。
- A L C面、コンクリートブロック面など多孔質下地の場合は、素地に巣穴や段差がある場合は、セメント系下地調整剤(樹脂入り)などで処理してください。
- シーリング材の上への塗装は、シーリング材の種類や材齢により塗膜の汚染、剥離、取割れなどの不具合を起こすことがあるため極力塗装を避けてください。やむを得ず塗装するときは、シーリング材が完全に硬化した後に、プライド防止用プライマーの「アンチブリーダーS」をシーリング面に先行塗ることにより不具合発生低減を図れます。ただしシーリング材の種類によっては、不具合低減ができない場合もあります。
- 軽量モルタル、窯業系サイディングボード、A L C、発泡ウレタンを使用した外壁材など蓄熱されやすい建材に塗装する場合は、既存膜の種類・下地の状態(蓄熱、含水など)の影響で発泡などの不具合が発生することがあります。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 被塗物の形状や表面状態、塗装方法により使用量は増減することがあります。
- 被塗物が塗料溜まりの生じやすい形状の場合は、たれ切りを行いながら塗装してください。
- 劣化により下地の吸い込みが著しい場合は、塗り回数を増やし、濡れ色になるまで塗り込んでください。

● 取り扱いに関する注意事項

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 火気のあるところでは使用しないでください。
- エポキシ樹脂系塗料などは、体質により皮膚接触による感作性を引き起こすことがあります。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するように心がけてください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い、塗料缶の内容物を均一な状態にしてください。
- 主剤・硬化剤は、はかりを用いて計量し、必ず所定の比率で混合して、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。正しい比率でない場合、硬化不良などの不具合の原因となります。
- さげ缶などに小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるよ

う攪拌してから小分けを行い、必ずはかりを用いて計量し、正しい比率で混合してください。また、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。

- 分割して使用した際に残った硬化剤は、密閉した状態で冷暗所で保管してください。
- 混合後は直ちに塗装してください。混合後、使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性がありますので、規定時間内に使用してください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
- 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 塗装器具の洗浄には二液形ネオコーセーシナーまたはラッカーシナーをご使用ください。
- 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

● 緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

● 廃棄

使用済み塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください)。

● 保管

- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintoshinpaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。